

彦名通信

No. 162
平成22年10月



インターハイ ヨット競技



インターハイ 卓球競技



インターハイ ボクシング競技

CONTENTS

目次

イベント特集

学生主事より	2
主な成績一覧	2
クラブ別報告	3・4・5
オープンキャンパス	6・7

クラス便り

4年学年主任より	8
4年機械工学科	8
4年電気情報工学科	8
4年電子制御工学科	9
4年物質工学科	9
4年建築学科	9
専攻科1年	10

寮生会便り

寮行事紹介	10
-------	----

研究活動

研究紹介	11
------	----

トピックス

トピックス	12・13
後期行事予定	13

地域交流

公開講座・出前講座報告	14
中・高校生科学ゼミナール	15
BSSラジオ放送	16
編集後記	16

クラブ活動 各種大会報告

学生主事 一般科目 森田 典幸

本年度の中国地区高専体育大会は7月2日～4日に開催されました。残念ながら団体種目での全国切符は逃しましたが、陸上・水泳・柔道・剣道が個人種目において、8月に北陸・東海地区で開催された全国高専体育大会へ出場し、陸上男子100mでD 4古磯和樹君が2位、水泳男子100m平泳でA 3村尾太一君が3位となるなど他の入賞者を含めて好成績を残しました。九州地区で開催された全国高校総体には、卓球・ヨット・ボクシングが会場し、全国の強豪相手に健闘しました。また、放送部がNHK杯全国高校放送コンテストに出場し創作テレビドラマ部門で制作奨励賞を獲得するなど優秀な成績を残しました。将棋同好会も全国高専将棋大会に出場するなど、この夏は体育系・文化系ともに活躍してくれました。学生諸君の健闘を讃えるとともに、他のクラブを含めて、今後の活躍を期待し、活気溢れる米子高専を目指してほしいと願います。

主な成績一覧

第46回中国地区高専体育大会 (平成22年7月2日～4日)

- 陸上 6位
- 男子100m 2位 4D古磯和樹
- 男子200m 3位 4D古磯和樹
- 男子110mH 1位 5D番原脩介
- 男子4×100mR 1位
- 4D古磯・5D番原・3E松本・3M宇根
- 女子砲丸投 2位 1D藪原有綺
- 女子4×100mR 2位
- 2C重永・1D藪原・1C石水・3C門脇
- バスケットボール男子 4位
- バスケットボール女子 3位
- バレーボール男子 予選敗退
- バレーボール女子 予選敗退
- ソフトテニス男子 一回戦敗退
- 卓球
- 男子団体 3位
- 男子ダブルス 3位 5C瀧・5E黒見
- 女子ダブルス 3位 4A角・1C福本
- 柔道
- 男子団体 予選敗退
- 男子90kg超級 1位 2E中曾哲史
- 女子48kg級 1位 1C南口弓子
- 剣道
- 男子団体 5位
- 男子個人戦 2位 4D山根大明
- 水泳
- 団体 2位
- 男子800m自由形 2位 1C稲葉幹平
- 男子100m背泳ぎ 2位 4D武良優輝
- 男子200m背泳ぎ 2位 4D武良優輝
- 男子100m平泳ぎ 2位 3A村尾太一
- 男子200m平泳ぎ 1位 3A村尾太一(大会新記録)
- 男子100mバタフライ 2位 1C稲葉幹平
- 男子400mメドレーリレー 1位
- 4D武良・3A村尾・1C稲葉・4A山崎(大会新記録)
- 男子400mリレー 1位
- 4D武良・4A山崎・3A村尾・1C稲葉(大会新記録)
- 女子100m平泳ぎ 3位 3C中尾あかり
- 女子100m自由形 2位 3A船越杏子

- 女子50m背泳ぎ 3位 3A船越杏子
- 女子200mリレー 1位
- 2A井戸垣・3C中尾・3A吉田・3A船越
- 硬式野球 一回戦敗退
- サッカー Aパート 2位
- テニス 男子団体 2位
- ハンドボール 3位
- バドミントン
- 男子団体 2位
- 女子ダブルス 3位 4E秋元・1C大江
- 女子シングルス 3位 2A千原那月

全国高専門体育大会 (平成21年8月20日～22日)

- 陸上
- 男子100m 2位 4D古磯和樹
- 男子200m 予選敗退 4D古磯和樹
- 男子110mH 予選敗退 5D番原脩介
- 男子4×100mR 予選敗退
- 3M宇根・5D番原・3E松本・4D古磯
- 女子砲丸投 10位 1D藪原有綺
- 女子4×100mR(オープン) 5位
- 2C重永・1D藪原・1C石水・3C門脇
- 男子200m(オープン) 2位 3E岩浅純平
- 男子200m(オープン) 25位 2D高森 暁
- 男子1500m(オープン) 6位 2D西村康祐
- 柔道
- 男子90kg超級 1回戦敗退 2E中曾哲史
- 女子48kg級 3位 1C南口弓子
- 剣道
- 男子個人戦 2回戦敗退 4D山根大明
- 水泳
- 男子800m自由形 10位 1C稲葉幹平
- 男子100m背泳ぎ 6位 4D武良優輝
- 男子200m背泳ぎ 予選敗退 4D武良優輝
- 男子100m平泳ぎ 予選敗退 3A村尾太一
- 男子200m平泳ぎ 3位 3A村尾太一
- 男子100mバタフライ 予選敗退 1C稲葉幹平
- 男子400mメドレーリレー 5位
- 4D武良・3A村尾・1C稲葉・4A山崎
- 男子400mリレー 予選敗退
- 4A山崎・3M福本・2D森・1D妹尾
- 女子100m自由形 予選失格

全国高等学校総合体育大会(インターハイ) (平成21年8月6日～10日他他)

- 卓球
- 男子シングルス 1回戦敗退 2E河本航大
- ヨット
- 男子FJ級ソロ 49位
- 3C平岡拓洋・1E倉田太浩
- 男子FJ級デュエット 31位
- 3C平岡拓洋・1E倉田太浩
- 女子FJ級ソロ 37位
- 3A中西和・2A砂原香葉栄
- 女子FJ級デュエット 22位
- 3A中西和・2A砂原香葉栄

- ボクシング
- ライト級 2回戦敗退 1E松永勝利

その他の大会等

- 高校野球(7月18日 鳥取県大会)
- 一回戦敗退

- 放送部
- (7月21日～24日 NHK杯全国放送コンテスト)
- ラジオドキュメント部門 準々決勝敗退
- 創作ラジオドラマ部門 入選
- テレビドキュメント部門 準々決勝敗退
- 創作テレビドラマ部門 制作奨励賞

- 合唱部
- 全日本合唱コンクール鳥取県大会(8月22日)
- 銀賞(中国大会出場)

- 将棋同好会
- 全国高専将棋大会(8月18日～20日)
- 団体戦 2回戦敗退
- 5D石田・5A砂場・1D塩見
- 男子個人 ベスト16 5D石田直大
- 男子個人 決勝T 2回戦敗退
- 5A砂場雄一郎
- 女子個人 決勝T 1回戦敗退
- 5C上田瑞穂

- 書道
- 第15回全日本高校・大学生書道展
- 大賞 2C増田 萌



ハンドボール



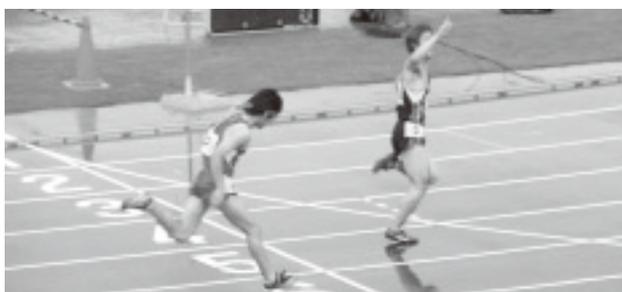
剣道



陸上部:全国高専大会陸上競技を終えて

5D 番原脩介

7月2、3日に広島県で開催された中国地区高専大会で110mハードルと4×100mリレーに優勝し、富山県総合運動公園陸上競技場で行われた全国高専大会（8月11、12日）に出場することができました。地区大会では個人種目の110mハードルで5年目にして初めて優勝することができ、継続することの大切さを実感することが出来ました。全国大会では予選を通ることができず、全国との実力の差を思い知る結果となりましたが、同じチームメイトの古磯（4D）が実力を発揮し100mで2位に入賞してくれました。来年は100m全国優勝だけでなく、リレー種目でも入賞してくれると信じています。最後に、陸上部を応援し支えて下さった方々、ありがとうございました。今後も1人でも多くの選手が全国の舞台上で活躍できるように陸上部一同頑張りますので引き続き応援よろしくお祈いします。

**柔道部:個人戦中国大会優勝、全国女子3位**

顧問 一般科目 永井 猛

柔道の中国大会は、呉市総合体育館で開催されました。団体戦は予選リーグで敗退しましたが、男子個人戦90kg超級では、昨年に続き、2Eの中曾哲史君が優勝しました。準決勝では小外刈り、決勝でも大内刈りで鮮やかに相手を倒し、すべて一本勝ちの見事な優勝でした。

全国大会は、8月20日、富山県のアルビス小杉総合体育センターで行われました。本校からは中曾君と女子個人戦48kg級の地区代表となった1Cの南口弓子さんが参加しました。中曾君は初戦、互角の試合を展開したのですが、足払いで有効を奪われ、結局、優勢負けを喫してしまいました。南口さんは、準々決勝を横四方固めで一本勝ちし、準決勝では敗れましたが、全国大会3位に輝きました。

全国大会に出場した二人の功績を讃えると共に、柔道部の今後の活躍に期待したいと思います。

**水泳部:全国大会を終えて**

3A 村尾太一

今年の全国大会は、8月22日、静岡県富士水泳場で行われました。夏休みが変更になり調整が難しかった中、男子は800m自由形で1C稲葉幹平が10位。100m背泳ぎで4D武良優輝が6位入賞。400mメドレーリレー（武良優輝、村尾太一、稲葉幹平、4A山崎基弘）で5位入賞。また女子では400m地区別リレーの中国地区チームに米子から3A船越杏子が出場し6位入賞という好成績で水泳シーズンを終えることができました。僕自身も3位入賞することができとても充実したシーズンを過ごす事ができました。このような成績が挙げられたのは全国一の応援とサポートがあったからだと思えます。特に決勝の部員みんなの大声援はとても力になり、ベストタイムを出すことができました。お世話になった顧問の先生、教職員の方々、OBの方々、また、会場まで応援に来ていただいた保護者の皆様から感謝しております。水泳部の今後の目標は、中国地区高専大会での総合優勝。そして、全国高専大会でのリレー優勝です。今後とも水泳部の応援をよろしくお祈いします。

**剣道部:全国大会報告**

4D 山根大明

剣道競技は8月21、22日に福井県立武道館で行われました。全国大会の当日まで期末テストやインターンシップなどいろいろありあまり練習に参加できずに当日を迎えてしまいました。

試合は1つ勝ちましたが2回戦で負けてしまいました。中国大会では2位になりましたが、同じ相手に3年連続で負けているので来年は勝って全国出場を決めたいです。

2年後には全国大会が鳥取で行われるそうです。4年生の僕が出ることはたぶん無いと思いますが、後輩たちが全国大会で個人、団体問わず活躍してくれることを期待しています。

最後に応援してくださった方々ありがとうございました。



テニス部:中国地区高専大会に参加して

5D 西尾 直

第46回中国地区高等専門学校体育大会テニスの部は、7月3日、7月4日に呉市総合スポーツセンターで行われました。ここ数年、ダブルスでの全国大会出場を連続で果たしていましたが、団体戦での出場はありませんでした。そのため、団体で全国大会へ出場することを目標にしていました。結果としては決勝で徳山に敗れ、全国大会出場という目標を果たすことはできませんでした。また、個人戦でも誰一人全国出場を果たすことはできず、歴代の先輩方に申し訳ない結果となってしまいました。去年の中国大会後キャプテンとなり、今回の中国大会まで試行錯誤を繰り返しましたが、チームを作るということは非常に難しいものであると改めて感じました。

今回サポートメンバーとして中国大会に帯同した学生たちは高専大会の雰囲気というものを感じ取ったと思います。それをこれからの練習・試合に活かし、来年以降の高専大会では団体戦メンバーに入れるような、また全国大会優勝を狙えるような選手を目指して欲しいと思います。

最後になりましたが、テニス部を支えてくださった教職員をはじめ、OB・OG、BSCの方々には深く感謝をしています。また、来年度の全国大会優勝を目指している部員たちの応援をよろしくお願い致します。



卓球部:沖縄インターハイ出場

顧問 電子制御工学科 河野清尊

平成22年度全国高校総体卓球競技（兼第79回全国高校卓球選手権大会）が8月7日(土)から12日(木)まで宜野湾市立体育館および沖縄コンベンションセンターで行われました。本校からは、E2河本航大が男子シングルスに出場しました。卓球部としては2年ぶりの出場となりました。

大会4日目の1回戦。千葉県6位の選手との対戦。1セット目から持てる力を出し切り、接戦となりましたが、最後は力およばず勝利を手にはできませんでした。悔しい半面、来年はこの場で必ず勝つ、と本人も決意することができました。今後も新たな目標に向けて努力を続けていきたいと思えます。応援いただいたみなさんに、また日頃からご支援・ご声援いただいているみなさんに深く感謝致します。ありがとうございました。

	11 - 4	
	10 - 12	
河本航大 2	10 - 12	3 矢田部将綺
	12 - 10	(千葉・千葉経大附高)
	4 - 11	

ヨット部:美ら島沖縄総体2010出場報告

3C 平岡拓洋

僕たちは中国大会で全国インターハイへの切符を勝ち取り、沖縄へ行くことができました。ヨットは他の部活とは違い3日間の長いレースの末、順位が決まるというスポーツなのでどうモチベーションを持続させるかがカギとなります。今回、男女ともギリギリのラインで予選通過した僕たちは、インターハイまでの短い期間で先生やコーチ、そして部員の仲間に支えられながら、全国でも通用するセーリングを目指して練習してきました。沖縄の海では、毎日が強風で、境港で練習している僕たちにとっては得意な風で良い順位を狙えるチャンスでもありました。しかし、実際にはその壁は高く全国のレベルを思い知らされました。練習量の差とか技術の差とかじゃなく、レースに向かう気持ちで負けていると思いました。この経験を生かして後輩たちに伝えていきたいです。



バドミントン部:第46回中国地区高専バドミントン大会の結果報告

5C 清水章皓

バドミントン競技は山口県のキリンビバレッジ南総合スポーツセンターで行われました。男子は団体4連覇、女子は全国大会出場を目標に日々メニューを模索しながら練習を続けてくると共に地域の社会人チームや島根大学に出向き相手をしていただきました。結果は男子・女子団体準優勝、女子ダブルス4E秋元・1C大江が3位、女子シングルス2A千原が3位となり、女子の活躍が多く見られましたが男女とも全国大会出場を逃してしまいました。部員同士の協力や意思疎通があまりできていなかった点が原因の1つであると認識しています。

先輩方の活躍によりバドミントン部は、去年で歴代の優勝回数が10回に達し特別表彰を受けました。今後は、この回数をさらに増やしていくために、部員一同さらなる精進をしていくつもりです。



ボクシング:インターハイ出場

顧問 電気情報工学科 浅倉邦彦

平成22年度全国高等学校総合体育大会（美ら島沖縄総体2010）ボクシング競技が7月28日（水）から8月3日（火）までの1週間、沖縄県立豊見城高校にて開催され、1E松永勝利（しょうり）くんが鳥取県代表としてライト級に出場しました。初日の抽選会でシードくじを引いたので大会3日目2回戦からの出場となりました。相手は熊本清峰高校の選手で九州チャンピオン、結果は1ラウンド1分34秒棄権負けでした。効果的なパンチを相手に何発かヒットさせていましたが、1ラウンド後半に相手の強力なパンチを顔面にもらってダウンをとられ、セコンド判断でタオルを投げて棄権しました。実力と経験で大きな差のある相手に対し、尋常ではない恐怖心を乗り越えて立ち向かっていく姿が非常に勇敢でした。試合直後の清々しい表情もとても印象的でした。感動しました。勝利くんはまだ1年生、これからの成長が本当に楽しみです。

**ラグビーフットボール部:中国高校大会に出場して**

3M 渡邊亮太

5月8日から山口県長門市で行われたこの大会に僕達が高専単独チームとして日本ではじめて出場することができて、大変嬉しく思っています。結果は広島県的美鈴ヶ丘高校には13-73、岡山県の津山工業とは5-44でした。2試合とも負けてしまい残念でしたが、自分たちの本来のプレーをしたらなんとか通用することが分かりました。このことは大きな収穫だったと思います。これからも切磋琢磨して来年もまた後輩たちがこの大会に出場できるようにしてやりたいとの気持ちで一杯です。しかし2年生以下は12人しかいないので、多くの人が是非ラグビー部に入って、一緒にこの大会の連続出場を目指しましょう。

**放送部:did☆it!**

2D 寺西 心

第57回NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会**創作ラジオドラマ部門 入選、創作テレビドラマ部門 制作奨励 受賞**

私たち放送部は、7月21日から4日間、東京で開催された第57回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会に3年連続となる出場を果たし、創作ラジオドラマ部門で入選（全国6位）、創作テレビドラマ部門で制作奨励（全国11位）を受賞する事ができました！

この大会は、地方大会を含めると全国から1,602校が参加した大規模な大会です。今回、私たち3年生以下の放送部員17名は力を合わせて、米子高専放送部史上初!番組全4部門（全国で入賞した2部門とラジオドキュメント部門、テレビドキュメント部門）において作品を制作、出品しました。鳥取県大会では3部門を制覇（最優秀賞受賞）し、もう1部門も優秀賞を頂き、全国大会出場に総力4作品で挑む事が叶いました。今年を『全国で1部門以上入賞』と定めていた私たち。県大会での結果に甘んじる事なく改良を重ねた結果、目標を上回る2部門で入賞し、何れもドラマ部門としては、鳥取県放送部史上でも最上位という好成績に私たち自身も驚いています。

我々のラジオドラマ「明朗性健気症」は“感謝と思いやり”、テレビドラマ「君もMovie☆Star」は“自分の失敗を受け入れる事の大切さ”をテーマにし、どちらもコメディ調の楽しい作品になっています。全国大会で上映された際も、他県の高専生からも好評で、すごく嬉しかったです。決勝にこそ進む事はできませんでしたが、自分たちの作ったものが準決勝で強豪たちと初めて肩を並べたというのは、大きな進歩ではないでしょうか。

最後に、応援して下さった皆様、ありがとうございました。次は全国優勝かッ?!



全国大会での集合写真



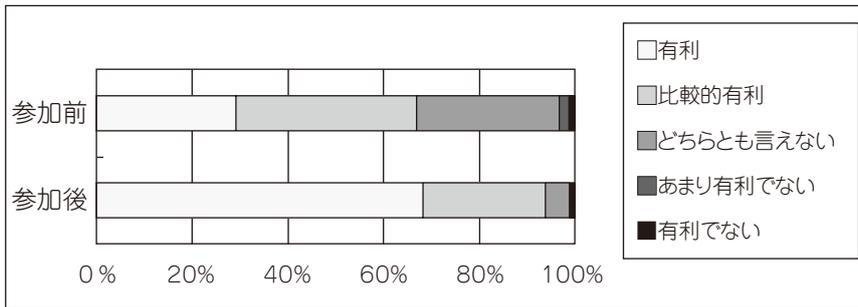
ドラマ「君もMovie☆Star」一場面

オープンキャンパス

8月19日に中学3年生を対象にオープンキャンパスを開催し、中学生は昨年より約100名多い460名、その他保護者、引率者約100名という多数の方に参加していただきました。参加者が多かったため、3会場に分散して学校全体の概要説明、5学科の説明を行い、その後に午前中の学科見学、体験を行いました。昼食休憩を兼ねた2時間は昨年の第2回オープンキャンパスで初めて実施して好評だった校内自由見学を、夏のオープンキャンパスとしては初めて行いました。その後は午後の学科見学、体験を実施し、希望者には寮の見学もしていただきました。当日の様子をアンケート結果と合わせてお知らせします。

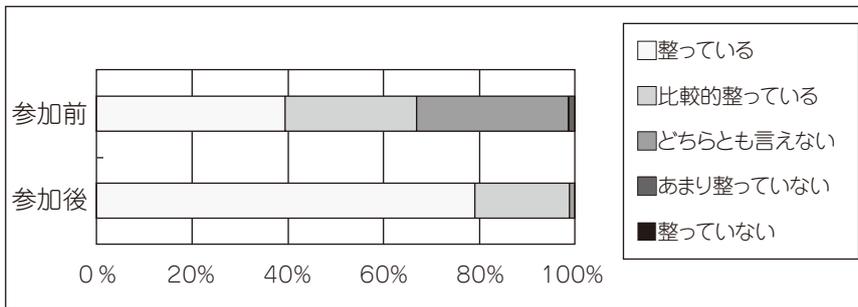
●アンケートではオープンキャンパスへの参加前と参加後で高専に対するイメージがどのように変化したのかを答えてもらいました。3つの設問への回答をグラフで示します。

○卒業後の大学への編入学の有利さ



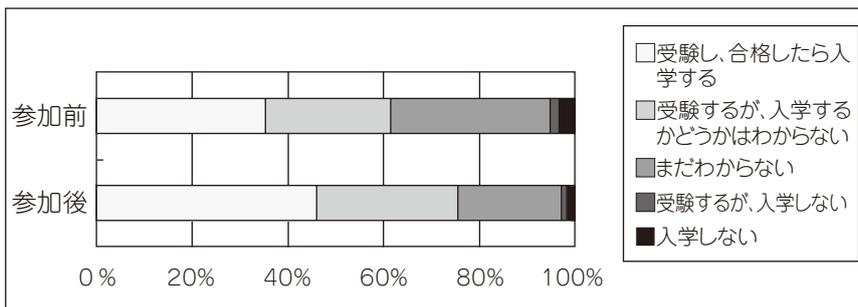
高専卒業後の大学への編入学の有利さへの認識が相当高まっています。

○高専の設備の整備状況



各学科の体験、校内自由見学などで高専の設備の充実度が高く評価されています。

○米子高専への受験の意志



高専へ入学したいという中学生がオープンキャンパスの体験により10%（約50名）増えています。

●アンケートに寄せられた感想の中から特徴的なものをいくつか示します。

○校内自由見学に対する感想

- ・学校の雰囲気も本当に良くて、また来たくなった。
- ・先輩がみんな親切にしてくれて、すごく安心できたうれしかった。
- ・いろんな人があいさつしてくれてうれしかった。
- ・広くて迷子になりそうでした。女の子の人が道を教えてくれて優しかったです。

○オープンキャンパス全体に関する感想

- ・米子高専は技術ばかりでなく部活や勉強も同じくらいあるんだなあと思いました。
- ・作ったりするのが難しそうだと覚えることもたくさんあって大変そうだけど、楽しそうだなと思いました。
- ・学生さんがとても優しく、私もこういう風になりたいと思いました。
- ・どの学科も学生の対応がとても好印象です。
(保護者の感想)

■ 機械工学科



ジェットエンジンやロボットなどを見学しました。ぶんちん作りなどの実際の作業も好評でした。

■ 電気情報工学科



ロボコードというプログラミングが人気でした。またLEDによるランプ作りや超伝導の体験にも関心が深かったようです。

■ 電子制御工学科



パソコンでのプログラミングに関心が高かったようです。もぐらたたきのゲームを行ったり二足歩行ロボットやiPadを見たりもしました。

■ 物質工学科



液体窒素で花やボールを凍らせる実験に人気が集まっていた。またポカリスエットを使った実験にも関心が集まっていた。

■ 建築学科



CADソフトを使った住宅設計が人気でした。また学生達で作った模型などの精度の高さに驚きの声が上がっていました。

4年

平成22年度・本科校外実習と専攻科インターンシップについて

平成22年度は校舎改修時以来、本科の夏季休業日程が変更された久々の校外実習でした。今年度は、参加申し入れ326社に対して156社(+大学3)の事業所から「受け入れ可能」の回答がありました。昨年度の139社(+大学2)を若干上回り、一昨年の176社へは及ばないものの、企業の業績回復の薄日が差した感があります。しかし、今年度は受け入れ企業が「学科と人数」を絞る傾向にあり、企業数は増えているものの募集人数の制限がある企業が多く「結果として昨年度より大変になった」様です。

今年は暦の関係で実習開始がお盆の移動と重なった学生も多く、夏の暑さも相まって苦勞したと思います。また、7月末から8月の1週目にかけて、昨年度は可能だった企業に多くの学生が行けなかったのは残念なことでした。半面、1/4程度は9月に実習期間があり、夏季休業の日程変更は良い方向に出た面もありました。

実習先の選択指導では、しっかりと目標を定めた学生はあっさり決まり、最後まで苦戦したのは、概ね危機感が無く迷いの多い学生でした。特徴としては、希望調書の鉛筆書き、誤字脱字、私服の写真や枠からハミ出た文字などの緊張感に欠けたところが目立ちました。半面、こぞと決めた実習先の抽選に漏れたり、希望する企業からの募集が無かった学生も「こだわり」が足枷となって決まるのが遅くなった様です。この経験は、年度末から始まる就職活動の良い予行演習になったのではないのでしょうか。

企業の指導担当者の感想には、すぐ「真面目」に「聞いている」という評価が多くありました。その評価には「自ら進んで行動すること」が少ないという物足りなさを感じさせる意見が混じっているように思います。学生諸君には来年度まで残りわずかな期間ですが、この実習体験を活かして、しっかりとキャリアプランを練ってもらえるように願っています。

今年度参加者は、M:47/47、E:40/41、D:36/36、C:41/41、A:40/41で、専攻科は生産システム工学専攻:14/19、物質工学専攻:6/6、建築学専攻:8/8でした。(参加者数/在籍者数)



学年主任
電気情報工学科
教授
松本 正己

機械工学科



Good Chemistry for Tomorrow 石本 佳和

私は岡山県倉敷市にある三菱化学株式会社水島事業所でインターンシップを取組ませて頂きました。

主な実習内容は石油製品の製造プロセス業務の体験でした。実際にこの様な体験を行う事で、石油製品が作られていくまでのプロセスは非常に複雑だと言う事が分かりました。何故なら、座学だけでは伝わりにくい事を実際に目で見て確認して動かす事によってより明確に理解が

出来るからです。また、化学は製造の基盤(土台)の位置にあって、素材は全製造業の原点である事が身に染みて感じられました。原点であるからこそ、化学産業は研究や開発によっては無限の可能性があり、自分の力で未来を拓く事さえ出来る。この様な仕事に携わっていく事が出来たらとても楽しく働けるだろうなと思えた実習となりました。

インターンシップを終えて 坂口 裕樹

私はインターンシップで、株式会社米子シンコーにお世話になりました。3DCADによる設計や、モーターの製造工程、汎用旋盤での加工を体験させて頂きました。設計から製造・組立てへの一連の流れを通して、品質と時間短縮を両立させるための様々な工夫や、次の工程への配慮の大切さを学びました。また、旋盤での加工は今まで高専で学んできましたが、今回の実習では製品の精度に加え時間短縮やコスト低減などを考慮した、実際の現場の視点からの加工方を教わりました。

5日間という短い期間でしたが、企業において図面から製品が出来上がる様子を見たり、その工程の中で成されている様々な工夫を学ぶことができ、とても有意義な実習でした。

電気情報工学科



インターンシップ 河井 郷

僕は、夏休みの8月15日から19日の5日間、サントリープロダクツ(株)の学外実習に参加しました。実施内容には、グループワーク、先輩社員の方々との座談会、高砂工場見学、グループディスカッションがありました。

5日間を通して、多くの友達もでき、とても楽しかったし、多くのことを学びました。特に先輩社員の方々との座談会は、様々なことを聞けたり質問することができまし

た。中でも印象に残っているのは、「チャレンジ精神」という前向きな考え方の大切さです。何事にもチャレンジをし、自分の幅を広げ、スキルアップをする。こういったことが、これからの自分にとっても必要な要素だと感じました。

原発に行ってきた 椿 脩

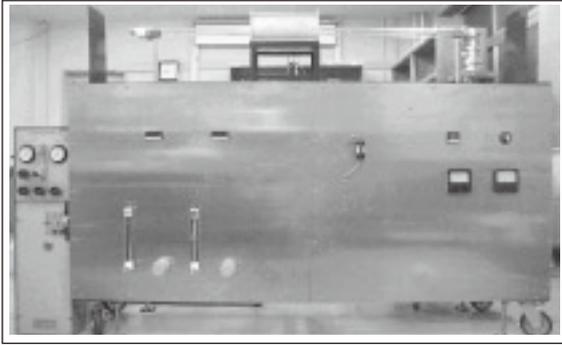
私はこの夏、インターンシップで福井県敦賀市にある敦賀原子力発電所に行ってきました。

原子力発電所のイメージとして、放射線が危険等のイメージがある方がおられると思いますが、敦賀原子力発電所は、放射線を厳重に管理をされていました。放射線を一度に受けて人体に影響が出る値が250だとすると、敦賀原発で受けた放射線は0.01程度でした。

現場は熱気が凄く、様々な配管が大量に張り巡らしてありました。一番暑い所で40℃を超えている場所もありました。また、蒸気を通っている配管を触らさせて頂きましたが、さながら、夏の日差しで温められたアスファルトぐらい熱くなっていました。

敦賀原発に行ってきた学んだことは、原子力発電は周辺に悪影響がない発電システムだということを知りました。

電子制御工学科



インターンシップを終えて 松本 遼馬

私は、8月16日(月)～8月27日(金)にダイキン工業西日本サービス部にて行われた夏季インターンシップに参加しました。今回、お世話になったダイキン工業では、主にエアコン等の製造・販売をしている空調専門のメーカーで、ゼッフル遮熱工法と呼ばれる、遮熱塗装工事等も行っています。

インターンシップの実習内容は、サービスということで、先輩エンジニアの方に同行してエアコン等の修理・点検を行

いました。今年は酷暑ということで、室外機の修理では屋外で暑さの厳しい中での作業となりましたが、この12日間でも貴重な体験が出来ました。今回の経験を今後の高専での生活や就職活動に活かしたいと思います。

インターンシップに参加して 田中 佑治

私は8月23日から27日の5日間山梨大学の「半導体薄膜の構造および物性評価」というコースに参加しました。その内容は太陽電池に最も多く普及されている半導体の酸化亜鉛の物性評価です。実習は担当の先生の研究室の大学院生と行き、大学院レベルの内容で私にとっては難しかったです。しかも高専の授業の内容が基礎となるので十分に理解しておかなければならないと思いました。

企業のインターンシップと違い交通費等の支給が出ないデメリットがありますが、高度な研究が出来る環境が整っているというメリットは大きいと思います。

他の実習生の大半が大学編入志望者で進学者との横の繋がりをつくる事が出来、勉強においての良い刺激になると思います。

なお山梨大学では宿泊にホテルを用意してくれたのでとても快適な一週間でした。

物質工学科



インターンシップに参加して 村社 咲希

私はサントリープロダクツの学外実習に参加しました。今回の学外実習はグループワークがメインになっていました。グループワークではペットボトルのキャップを閉めるためのキャッパーを作成したり、ペットボトルに水を均一に充填するための道具を作成したりしました。専門外のことが多かったのですが、チームのみんなと協力をしながら作成しました。また、高砂工場を見学させてもらい、普通の見学者ではみることのできない内部ま

で見ることができました。商品を生産する過程を間近で見ると興味がある私にとっては興奮要素ばかりでした。今回の学外実習で学んだものはサントリーのことだけでなく、いろいろな力も得ることができたので今後の生活に生かせたらと思います。

インターンシップの感想 石津 達也 湯汲 航平

僕たちは倉吉にある尾池グループのひとつ、尾池ファインコーティング(OFC)に行きました。尾池グループは4つの会社から成り立ち、その中のひとつがOFCです。

OFCでは、ウェットコーティングと呼ばれる方法を用いてタッチパネル、ケータイなどの保護フィルム、カーナビなどのディスプレイの製造に携わっています。

今回、僕たちはその中でもディスプレイの上から張り付ける保護フィルムなどを、専用の測定器具で検査させてもらいました。

クライアントは、よりよい品質のフィルムを求めているので、丁寧に検査することがよい商品の開発につながると思いました。実際に、指紋の残りにくさや環境によるフィルムの変化の検査を体験しましたが、かなり細かく地道な作業だったので、こういった努力が私たちの生活を支えているんだと感じました。今まで、こういった下請け企業は、自分の中でマイナスのイメージが強かったのですが、仕事を体験してみて、基盤を支える大事な会社なんだと実感することができました。

建築学科



インターンシップにて 石田 菜葵

私は店舗設計やプロダクトデザインに興味があり、名古屋にある大手デザイン事務所の神谷デザイン事務所の面接を受け、8月23日から9月25日まで(執筆時はインターンシップ真っ最中!)インターンシップにいきました。

事務所では、授業で使っているCADで図面を書く機会も多くあり、実際に現場で使われるとなると緊張したり、不安になったりもしていましたが、反面、もっと頑張らなければと強く感じました。

期間中、社長に「デザイナーになって何がしたいのか」、「デザイナーになるのは手段であって目的ではない。」とも言われ、自分の考えが、デザインでなにをしたいかではなく、単なるデザイナー願望であることを気が付かされました。そんな中、自分の図面や、選定したクロスが実際に使われるときのうれしさは格別で、改めてデザイナーになりたいと思った初心を忘れず、将来、必ず、デザイナーになろうと思いました。

インターンシップを終えて 横山 亮平

私は、将来、総合建設業に就職を予定しているので地元企業の(株)美保テクノスに行きました。今回、皆生に建設されている老人ホームの現場に四日間配属され一番印象に残っているのは、「コミュニケーションの大切さ」です。

現場では、現場監督や職人さんが工程通りに進んでいるか、作業の速さ、危険予知の確認を繰り返し作業を進めているのが印象的でした。建物内部では学校で習ったことも多くありましたが、現場で使われている用語や道具の名前などわからないことのほうが多く、途中からは分からないことが分からないという体験をしました。

将来の就職活動に向けて、プレゼン能力やコミュニケーション能力をつけることが必要だと思いました。

専攻科1年



2度目のインターンシップ

生産システム工学専攻
川戸 聡也

私は愛知県小牧市にある、DIC株式会社小牧工場の新加飾製造部において、2週間の研修を受けさせて頂きました。そこでは水圧転写フィルムやインサート成形フィルムの製造現場に立会い、簡単な作業や現場の方々の説明により、主に工程や安全対策について学びました。また、初めての土地でのマンション生活では、一人暮らしの大変さを痛感しました。2度目のインターンシップという事で新しい事を学びたいと思い自分の専門外の企業を選びましたが、普段とは違った知識や考え方を得られ良い経験となりました。インターンシップという貴重な体験を2度もできて良かったです。得た経験や

知識を学業、そして将来に役立て生かしていきたいと思えます。

インターンシップに参加して

建築学専攻

中村 泉

私は、米子市役所の中心市街地活性化室に、2週間インターンシップに行きました。主に、だんだんバスの利用に関するアンケート調査、JR境線の利用実態のアンケート調査、中心市街地の視察をしました。業務をやってみると、町に出ることが多かったです。実際に市民の方の意見を聞いたり、商店街でお店の方と話す機会も多くありました。また、まちづくりには、町の人、商店街の方や民間のまちづくり団体と多くの方が関わっており、それぞれに違う思いや考えを持っておられます。それをまとめていき、米子のまちを活性化させるという大変さも学ぶことができました。多くの人と出逢い、まちづくりについて学ぶことができた、貴重な実習でした。

寮生会便り

寮 祭

高砂寮・寮祭実行委員長 3C 立道 大雅

今年の寮祭は6月25日、26日に行われました。

寮祭当日は天気恵まれず、雨が降ってしまいました。寮生のみんが雨雲を吹き飛ばすくらい元気で、とても盛り上がりました。

今年度の初めから、少しずつ準備を進めてきました。男女ともに寮祭実行委員長としてやっていけるのか大きな不安でしたが、他の役員の方々に手伝って頂いたお陰で無事に寮祭を終えることができました。

1年生にも多くの準備を手伝ってもらいました。しかし、その分楽しんでもらえたのではないかと思います。教職員の皆様にも大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

とても大変でしたが、それも含めて思い出に残る寮祭になりました。



球 技 大 会

高砂寮・体育委員長 3E 玉井 将也

球技大会は5月12日に行いました。男子はバスケットボールとバレーボールの試合を行い、結果は、バスケットボールの1位は4E、バレーボールの1位は3Eでした。試合はとても白熱したものとなり、皆さんに楽しんでもらえたようなので良かったです。

私にとって初めての仕事だったので、わからないところが多くて緊張しました。しかし、他の役員の方や1、2年生に手伝ってもらい、ケガ人もなく無事に行うことができました。

後期にも球技大会があるので、その時には確実に仕事をこなし、寮生の皆さんにより楽しんで頂けるように頑張ります。



研究紹介

物質工学科 小川 和郎 研究室

当研究室では“天然物を用いた機能性高分子材料の開発”をテーマとし、主に低環境負荷型の材料開発を目指して研究に取り組んでいます。

プラスチック、繊維、ゴム、塗料、接着剤等の材料は高分子化合物と呼ばれる物質でできており、我々の生活には必要不可欠な存在です。高分子とは分子量が約1万以上の巨大分子であり、その多くは石油を原料として合成されています。石油由来の合成高分子は多くの利便性を有する一方で、資源の枯渇や廃棄後の処理等、多くの問題も抱えています。

そこで、当研究室では原料あるいは原料の一部に天然物を利用することで資源の問題を解決するとともに、天然物特有の機能性を活かした材料開発や天然高分子の機能改質による新規材料の開発を行っています。例えば、天然高分子であるセルロースを原料とし、これにシクロデキストリンを導入した選択性吸着材の開発やグラフト重合等を利用したセルロースの機能改質を試みています。また、結晶性の糖鎖含有高分子の合成や低環境負荷型の高吸水性高分子の開発も行っています。

これらの他にも、地元企業との共同研究を通じ、廃食油のリサイクルについて研究しています。これまでに、廃食油とA重油を混合した燃料の性質やBDF（バイオディーゼル燃料）の高品質化等について検討してきました。また、BDF製造時の副生成物であるグリセリンの有効利用法についても検討しています。

最近、これらの有機系材料を評価するための機器類が、更新等により物質工学科に導入されましたので、この場をお借りしてご紹介させていただきます。NMR（バリアン社製、200MHz、写真）およびFT-IR（日本分光(株)製）は構造解析に必要不可欠なものであり、敏速かつ詳細な解析が可能になりました。また、GPCシステム（日本分光(株)製）の導入により、高分子化合物の分子量分布等の測定も可能になっています。現在、これらの機器を活用し、“米子発”となる材料開発を目指して研究に取り組んでいます。



多目的X線回折装置の設置について

電子制御工学科 雑賀 憲昭

平成21年度補正予算にて試料水平型X線回折装置（リガクUltimaIV Protectus）が電子制御工学科デバイス実験室に設置されました。用途は半導体電子材料、金属、粉体、食品、医療品などで粉末試料、バルク、薄膜試料の形で多目的に適用できます。試料を水平に設置する方式を採用して液体、気体も扱え $\theta - 2\theta$ 測定やグレーティング入射が可能で格子面指数の測定範囲が広がっています。X線発生管の印加電圧は2~50KV（1KV step可変）、管電流：2~60mAで高X線強度を用いることにより、50ナノメートル厚程度の薄膜の回折強度も検知ことができます。X線シンチレーションカウンタはダイナミックレンジ700Kcpsを有しています。使用する手続きは、X線管を水冷するクーラーを設置して計測時間を短縮するシステムとなっています。

測定回折パターンはPDXLソフトによって基本データ処理（半値幅、結晶子サイズ決定）等が行われ、新設した国際ICDDデータベースを用いると構成元素、新たに生成された化合物の同定及びその面指数が特定されます。

卒研、特研、関係各位の研究発展に御活用を期待しています。



マイクロソフト包括ライセンス利用について

副校長 小田 耕平

国立高等専門学校機構とマイクロソフト（株）との間で包括ライセンス契約が締結されたのに伴い、学生の個人所有のパソコン1人1台に限り、Office製品およびWindows製品をそれぞれ1種類インストールすることができるようになりました。ただし、Windows OSについては元となるOSのライセンスは必ず必要となります。この包括ライセンスでは、卒業・修了後でもソフトウェアを継続して利用することができます。学生の皆さんに利用して頂くのに際して、担任からソフトウェアをインストールにあたってのメディアの購入の手続きの方法やソフトウェア使用にあたっての誓約事項等の説明を行って頂きました。

最新のソフトウェアが利用できる反面、インストールされたパソコンを廃棄や譲渡する際に、アンインストールするなどの義務もありますので利用に際し十分留意して下さい。なお、この件に関するお問い合わせは、学生課教務係（0859-24-5022）までお願いします。



前期球技大会について

学生会体育局長 4A 山崎 基弘

今回の球技大会を実施するにあたり、学校行事以外での実施は初の試みだったため、どのように計画を進め、準備をしていけばよいか分からず不安ばかりでした。そんな時、先生・先輩方にアドバイスやフォローをして頂き、ひとつひとつ計画を進めていくことができました。当日、まだ不安要素もありましたが予想以上に多くの学生が集まり、大変盛り上がった球技大会になったと思います。これも、アドバイスをくださった先生・先輩方、また大会を活気付けてくれた学生のみなさんのおかげです。ありがとうございます。後期は学校行事として球技大会を行います。前期以上に盛り上がりのある球技大会を目指し計画していきますので、みなさんには御迷惑をおかけすることもあると思いますが御協力よろしくをお願いします。勉強の息抜きとして積極的に参加し、球技大会を盛り上げてください。よろしくをお願いします。



健康教室～リラクゼーション講習会～

学生相談室 永井 猛

本年も3年生を対象とした「健康教室～リラクゼーション講習会～」を学生相談室と3学年担任団との共催で行いました。5月から7月のLHRの時間を利用して1クラスずつ、武道場で実施しました。講師には、ヨーガインストラクターの岡本美穂先生と楠田流美子先生を招き、ヨーガの代表的なポーズをいくつか教えていただきました。この「健康教室」は、ヨーガの簡単なスキルを学ぶことによって、身も心もリラックスさせてストレスを発散させるという、自己コントロールの方法を身につけてもらうことを目標としています。静かに呼吸を整え、指示されたポーズに近づけるよう精神を集中していきます。中でも、仰向けになって軽く目を閉じるシャバアーサナというポーズが、最高のリラックスポーズだそうで、中にはそのまま寝てしまう学生もいるほどでした。この講習会が、学生諸君の体と心の健康のために役立てばと願っています。



建築学科展示会2010 in ジャスコ日吉津

建築学科 細田 智久

建築学科の学生作品展示会を2010年7月23日（金）から25日（日）までの3日間、イオン日吉津ショッピングセンター（ジャスコ日吉津店）東館1階ふれあいコートで開催しました。この展示企画は昨年に引き続き2回目で、専攻科2年生6名が履修する「企画デザイン論」の授業の一環として展示レイアウトを考え、卒業生紹介パネルやポスターのデザインなどを工夫しながら作成して実施しました。

展示した作品は、本科1年生から5年生までの模型や図面、全国高専デザイン2部門3連覇の作品や記録映像などです。同時に子どもたちへの折り紙建築の制作体験コーナーも企画しました。来場客数は、3日間の10時から17時の集計で延べ1,070名の方にご来場いただきました。

多くの方々に展示を見ていただき、特に建築学科の卒業生や在校生の保護者などからも声をかけていただいたことで、展示準備に3ヶ月間取り組んできた専攻科2年生も大きな充実感と達成感を得たようです。



各種コンテスト予選会の結果報告

建築学科 白枝 伸

ロボコン2010出場ロボット報告

ロボコン2010「激走! ロボ力車」本選に向けて、予選となる中国大会が10月31日(日)松江市総合体育館で行われます。本校からは6月18日(金)に行われましたロボット説明会で概要を発表した2チームが参加します。「BAYASIX(チーム代表:5M 太田拓巳)」と「高専前派出所(同:4D 田中佑治)」の2チームです。9月1日(水)に中間審査会を開催、9月27日(月)には各チームのロボットの披露と壮行会を兼ねたデモンストレーションを開催しました。今年も彦名小学校の児童を招待しての披露となりました。学生たちは、夏休みを返上して一生懸命にロボットを製作していますので、中国大会(松江市)では是非多くの方の応援をお待ちしております!



プロコン予選結果

全国高等専門学校第21回プログラミングコンテスト「集えプロコン! IT維新の志士たち」予選(書類審査)が、6月26日(土)にサレジオ高専で行われました。本校からは、課題部門2作品、自由部門2作品、競技部門1作品を応募し、自由部門1作品と、競技部門1作品が予選を通過しました。本選は高知高専を主管校にして10月16日(土)・17日(日)に高知県高知市の「高知市文化プラザかるぼーと」で行われます。

予選通過チーム

自由部門

作品名: 「救急Res:Q -携帯端末を用いた音声反応式記録システム-」
 参加学生: 5D 秋山晴彦、5D 左久間一幸、
 2D 柴田泰樹、2D 鷺見知洋、2D 舟越大
 指導教員: 河野清尊先生

競技部門

テーマ: 「水瓶の恵み -緑と水のネットワーク-」
 作品名: 「TMT -貯めて撒いて治水する!?-」
 参加学生: 3E 木村勇太、3E 成相雅樹
 指導教員: 松本正己先生

デザコン校内予選

デザコン2010 in 八戸へ参加する「構造デザイン部門」「環境デザイン部門」「空間デザイン部門」「ものづくり部門」それぞれの校内予選会を夏休み中に開催しました。今年は「もったいない」をメインテーマに、「本来あるべき状態にないこと。それをふさわしい状態にかえる・・・」そんな『もったいない』ライフスタイルの実現に向けた提案が求められています。各部門ともにテーマが年々難しくなっている上に、今年度からはそれぞれに各校応募数の制約が課されています。本校は昨年までに3年連続で日本一の好成績を修めており、今年度も日本一を目指してがんばっています。校内予選で評価の高かった作品を応募し、本選予選を通過した作品が11月13日(土)・14日(日)に青森県の八戸高専で行われる本選に臨みます。



平成22年度行事予定(後期)

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 金		1 月	文化祭片付	1 水	↑後期中間試験	1 土	元日	1 火		1 火	↑
2 土		2 火		2 木	↓後期中間試験	2 日	冬季休業	2 水		2 水	
3 日		3 水	文化の日	3 金		3 月		3 木		3 木	
4 月		4 木		4 土		4 火		4 金		4 金	
5 火		5 金		5 日		5 水		5 土		5 土	
6 水		6 土		6 月	↑後期中間試験	6 木		6 日		6 日	
7 木		7 日		7 火	↓後期中間試験	7 金		7 月		7 月	
8 金		8 月		8 水	↑後期中間試験	8 土		8 火		8 火	
9 土		9 火		9 木		9 日		9 水		9 水	
10 日		10 水		10 金		10 月	成人の日	10 木	補講	10 木	
11 月	体育の日	11 木		11 土		11 火		11 金	建国記念の日	11 金	認定会議
12 火		12 金		12 日		12 水		12 土		12 土	
13 水		13 土	↑第2回オープンキャンパス	13 月		13 木	学習到達度試験(3年のみ)	13 日		13 日	
14 木		14 日	↓	14 火		14 金		14 月	学年末試験	14 月	
15 金		15 月	高専大会(冬季)	15 水		15 土		15 火	学年末試験	15 火	
16 土		16 火	球技大会	16 木		16 日		16 水	学年末試験	16 水	
17 日		17 水		17 金		17 月		17 木	学年末試験	17 木	
18 月		18 木		18 土		18 火		18 金	学年末試験	18 金	
19 火		19 金		19 日		19 水	推薦入試	19 土		19 土	
20 水		20 土		20 月		20 木		20 日	入試(学力)	20 日	
21 木	↑特別行事	21 日		21 火		21 金		21 月	入試(面接)	21 月	↑春分の日
22 金	↓	22 月		22 水		22 土		22 火	終業式	22 火	
23 土		23 火	勤労感謝の日	23 木	天皇誕生日	23 日		23 水	補講	23 水	卒業式・修了式
24 日		24 水		24 金	月曜授業	24 月		24 木	補講	24 木	
25 月		25 木		25 土	↑	25 火		25 金	補講	25 金	
26 火		26 金		26 日		26 水		26 土		26 土	
27 水		27 土		27 月		27 木		27 日		27 日	
28 木		28 日		28 火		28 金		28 月	臨時休業	28 月	
29 金	文化祭準備	29 月		29 水		29 土				29 火	
30 土	↑文化祭	30 火		30 木		30 日				30 水	
31 日	↓			31 金		31 月				31 木	↓

7・8月の公開講座・出前講座

今年度も夏季休業中に本校教員や学生が参加してさまざまな公開講座・出前講座が実施されました。そのうちのいくつかをご紹介します。

公開講座 「リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう」

技術教育支援センター 上田 輝美

7月31日(土)、本校において公開講座「リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう」を実施しました。今年度で4回目となる本講座では、小学3、4年生16名がアイデアを生かし、技術職員の指導のもと、県内の海山の貝殻や木の端材、割りばしやボタンなど身近にあるものを使い、個性豊かな時計やモバイルを作りました。リサイクルに関する話も交え、ものづくりの楽しさとともに環境を考える充実した講座となり、参加者から「楽しく作ることが出来た」「リサイクルに興味を持てた」という声が多く聞かれました。最後に、開催にあたり、諸手続きや部屋の提供などでお世話になりました本校関係者ならびに材料をご提供下さいました多くの教職員の皆様に、この場をかりて厚くお礼申し上げます。



出前講座 「コマの不思議を体験してみよう」

機械工学科 山口 顕司

止まっても自転車が倒れないようにする車輪があるのを存じでしょうか？まだ自転車に乗ることができない子どもでも、この車輪を取り付ければ補助輪なしで運転できます(興味を持った方は"gyrobike"で検索してみてください)。原理は難しいものではありません。車輪の中に回転体が埋め込まれており、そのジャイロ効果によって姿勢を保ちます。これも「コマの不思議」のひとつです。回転しているコマには我々の直感的な常識をちょっとだけ揺さぶるような不思議がたくさんあります。

この出前講座では、写真のように空中で回る浮遊コマや立ったまま止まるコマなど、様々なコマを実演しています。最近、ベーゴマをモチーフにしたオモチャが流行しているせいもあってか、特に小学校低学年向けの講座として好評をいただいています。

ところで、一番人気がある浮遊コマは、バランス調整が極めて繊細で、なかなかうまく回すことができません。昨年までは職人技を持っていた学生がいたのですが、残念ながら卒業してしまいました。というわけで、浮遊コマを回せる人材を募集中です。



公開講座 「家庭発!親から子へつなぐ、リサイクル工作教室」

技術教育支援センター 上田 輝美

8月21日(土)、公開講座「家庭発!親から子へつなぐ、リサイクル工作教室」を実施しました。本講座は、親子での工作体験を通し「ものづくり」の基盤を次世代へつなげることを目的とし、小学生の親子10組が、技術職員の指導のもと、鉱石ラジオと廃油キャンドルを作りました。

ラジオ作りでは、アンテナに使う20メートルものエナメル線を親子で苦労しながらも楽しく巻き、(放送局からの電波をキャッチして)完成したラジオから放送が聞こえた瞬間、大歓声が上がっていました。キャンドルは受講者の持参した廃油で皆が一緒に作り、和やかな雰囲気となりました。参加者からは、「ラジオが電池なしで聞こえるのが不思議。作って聞くことができうれしい」「リサイクルを身近に感じた」などの声が多く聞かれました。

最後に、本講座の開催にあたり、諸手続きや部屋の提供などでお世話になった本校関係者ならびに、材料をご提供下さいました教職員の皆様に、この場をかりて厚くお礼申し上げます。



出前講座 「声で砂絵を描こう」

電気情報工学科 新田 陽一

昨年度より板の共振現象を利用する標記のテーマを実施しています。物体はその形状や固定方法によって振動する形が限られる^{※1}のですが、ここではアルミ平板にスピーカを取り付けて砂を撒き、マイクロホンで收音した声を再生します。このとき、適当な音程の声を上手に保つと、振動の弱い部分に砂が偏って模様^{※2}が浮かび上がってきます。ですから、自由な模様の絵が描けるわけではなく、平板がもつ固有の形に限定されますが、声の高さを変えることにより様々なパターンを描くことができます。

本年度は小学生の子供会行事などで6回ほど実施していますが、みんな最初はきれいな模様が描けず、息が切れたりして苦労します。しかし、すぐにコツをつかんで、一瞬で模様を描けるようになり、思わぬ傑作ができることもしばしばです。できあがった「作品」はラベルにタイトルを書き、ラミネート加工して持ち帰ってもらっています。

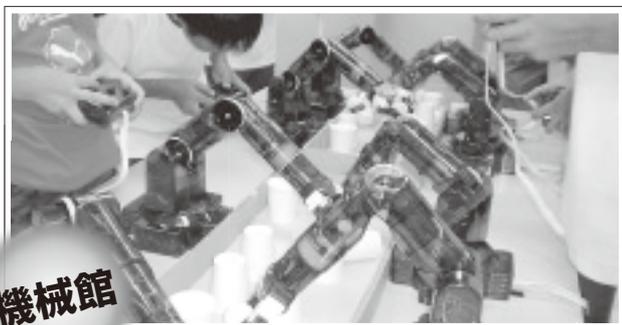
※1 固有モードといいます。

※2 考案者にちなんでクラドニ・パターンといいます。



中・高校生科学ゼミナール(スーパーエンジョイ科学館)

「鳥取県中・高校生科学ゼミナール」との連携講座として開催2年目となる「スーパーエンジョイ科学館」を8月12日(参加者総数70名)に開催しました。本校の学生による丁寧な指導が大変好評でした。



機械館

ロボコンアームを作ろう!!

- ・ギアの調節やネジの調節がむずかしく、勉強になったし興味もった。
- ・実際に自分でロボットを作って動かしてみても楽しかったです。細かいところもあり難しかったです。
- ・ロボットアームを作るのが楽しかったです。ゲームも楽しかったです。
- ・とても良いものが作れて、とても楽しかった。また、参加したいと思いました。



電気情報館

エアシュートサッカーロボをつくろう!!

- ・かんたんに作れてよかったし、みんなと楽しく遊べて良かったです。
- ・作ったことのない空気の利用してシュートするロボットを作れてよかった。
- ・エアシューターを作ること自体はそれほど難しくなかった。しかしそれを使った試合が思ったより難しく、ほとんど勝てなくて残念だった。



電子制御館

コンピューターロボットを作ろう!

- ・今回この電子制御館をやっとうことはふだんできないのでこういうことができて楽しかったです。家でもかいてや新しい動きなどもためしてみたいです。
- ・自分でプログラミングしたことがなかったので初めてやってみて、意外と難しかった。家でも色々プログラミングをやってみようとおもった。難しかったけど、楽しかった。また参加したい。



科学捜査館

DNA鑑定で犯人を捜そう!

- ・指紋のポンポンするやつが楽しかった。
- ・色々はかって混ぜたりするのが楽しかった。色々できて楽しかった。
- ・先生やスタッフの人の教え方がやさしく、難しい内容もわかりやすかった。
- ・DNAの判定をどうするかを考えながら来たけど、かんてんの中にいれるなんて驚きました。



建築館

MEGA QUAKE 巨大地震の恐怖体験!

- ・地震についてあまりくわしく知らなかったので知れて良かったです。地震体験がとてましたのしかったです。
- ・地震のゆれのやつが思った以上にゆれて、すごかった。家具の転倒実験を見て、家具が倒れないようにする方法が分かって良かった。
- ・実際に震度6の地震を体験してみて、これがずっと続くのもっと恐ろしいのだなと思いました。家にもしっかりした耐震対策をしたいです。



理科館

ソーラーカーを作って競争しよう!!

- ・レースには勝てなかったけど、ほかの中学校の人などとレースができたので楽しかったです。
- ・作り方を分かりやすく教えていただいて上手にできました。自分が作ったソーラーカーで競争をして、負けただけ楽しかったです。
- ・自分で作ったソーラーカーでレースをするのは楽しかったです。だいぶはやく走ったなと思いました。

ラジオ広報始めました。(BSSラジオ)



平成22年8月5日
BSSラジオ
収録スタジオにて

左より
齊藤校長、丸山アナ、べるをさん

はじめてのラジオ広報
—とても楽しい5分間でした—

校長 齊藤 正美

米子高専の魅力がラジオで伝える、という初めての体験をしました。もちろん、内容についての事前準備はしっかりやっていましたが、それをおしゃべりという形で話すというのはかなり勝手が違うものでした。しかし、お二人のパーソナリティの方に助けられて、たいへん楽しくかつスムーズに終えることができました。

ラジオ広報の目的は、第一に、広く中学生や保護者の方に、米子高専の魅力をしっかり知っていただくことです。そのために、この番組は10月までに全13回を予定しています。入試説明会等では正しく知ってもらうことがなかなか難しい学校制度や教育の中身、就職・進学のこと、入学後のキャンパスライフや卒業生の活躍状況などをテーマごとにまとめてわかりやすく視聴者の方に聞いてもらうこと（そのことを通して入学志願者が増えてくれること）が狙いです。第二に、本校の教職員や学生がラジオ局の方達と協力して番組作成を行い、またそれを全ての学生・教職員に聞いてもらうことによって、私たち自身が米子高専の特長をより良く知り、かつ他の人達にきちんと伝えるための訓練ができることです。このような広報活動を通して、学生・教職員が自信をもち、学校全体が一層生き生きとしてくることを期待しています。そして、全ての学生・教職員が本校の良き広報員となってくれることを願っています。

インターネットでも、この番組を聴くことができます!
今すぐBSSラジオホームページ
<http://bss.jp/radio/honpo/ko-index.html>
へGO!

編集後記

今年も中国地区高専体育大会などで好成績が続出し、学内は大いに沸きかえりました。学生たちの努力に賛辞を送りたいと思います。

紙面へのご意見・ご感想を、メール (hikona@yonago-k.ac.jp) にてぜひお寄せください。

※記事において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、

G…一般科目、S…専攻科

例えば、「1M」は機械工学科1年生を表しています。

発行：米子高専広報委員会

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5023 FAX: 0859-24-5029 印刷：株式会社高下印刷
E-mail: hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/ ⇒メニューより「キャンパスライフ」